

2. 指標設定

成果指標	指標名	安全安心な給食の提供	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—			安全・安心な給食の提供と食育指導の推進			
活動指標	指標	a	食の指導	b	給食の実施数	c		d
	数値	目標	186回	目標	26ヵ所	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
安全安心な給食の提供		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 食の指導	回	178 回	122 回	163 回
		95.7 %	65.6 %	87.6 %
b 給食の実施数	ヶ所	25 ヶ所	26 ヶ所	26 ヶ所
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
給食の未収金対策。
対応（改善点等）
未納者の分析と法的措置、新規未納者対策。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

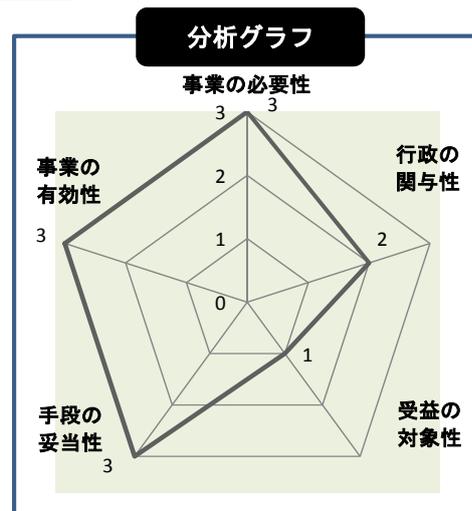
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		258,042	251,420	252,477	240,676
うち経常		258,042	246,020	246,571	238,629
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	158,748	153,769	154,804	157,409
	一般財源	99,294	97,651	97,673	83,267
うち経常		99,294	92,251	91,893	81,220
事業費に係る人件費		98,900	128,813	126,406	128,631
事業費に係る人役		23.00	30.00	29.00	29.00

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
給食の提供および施設の維持管理に、一定の経費が必要のため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 学校給食法・食育基本法による目的達成のため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 調理部門等の一部外部委託の検討の余地がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 給食を提供する者に限られるため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未収金の回収に努め、適切な事業運営を行うこと。